

平成31(令和元)年度
学校だより



ふやぐの風

鹿児島大学教育学部
附属小学校
第1号
平成31年4月26日発行

新たな軌跡を描く1年に

副校長 益山 富裕

例年より早く4月5日(金)に、始業式、入学式を行い、新たな気持ちで866名の子どもたちが学校生活をスタートさせました。6名の先生方を迎える、学校に新たな風が吹き、活気が甦ってきました。3週間が経過し、教室や先生にも慣れ、子どもたちが、夢や目標をもって、活動に取り組んでいる生き生きとした姿を見ることができます。

本年度も学校教育目標を「夢や目標をもち、共にみがき高め合う子どもの育成」と掲げ、PTAのテーマも同じにすることで、特色ある教育活動や授業の充実を通して、子どもたち一人一人の輝く姿や学びの成果が一つでも多く表出するように、共に取り組んでいきたいと考えています。

また、子どもたちの学校生活においては、昨年に引き続き、あいさつ日本一の附属小学校やトイレのスリッパ並べ(トイテタッチ)、思いやりのある言動、公共の場でのマナーについて、職員一丸となって子どもたちとできるようにしていきます。そのためにも私たち職員は、子どもに寄り添い、思いをくみ取り、関わっていきます。

子どもたちの毎日の学校生活が、笑顔に溢れ、充実感を味わえるように邁進いたしますので、保護者の皆様におかれましても、御理解、御協力をよろしくお願ひします。

新たな出会いへの喜び



4月5日(金)に新任式、始業式、入学式が行われました。新1年生148名を迎える、全校児童866名で、創立142年目の附属小学校がスタートしました。

入学式では、6年生の代表児童が、新一年生に向けてお祝いの言葉を贈るとともに、「附属小学校の伝統である『附属のあいさつあ・い・う・え・お・じ』『ちよボラ』『トイテタッチ』と一緒に頑張っていきましょう。」と、創立142年目の附属小学校を共に創っていくことを呼びかけました。また、各学級では、この一年間でどのような自分やどのような学級を目指していくのかを、新しい担任や友達と語り合い、具体的な目標を設定しました。

それぞれの子どもたちが設定した個人や集団としての目標の達成に向かって、全力で取り組むとともに、笑顔溢れる学校にしていくことができるよう、職員一同全力で支援していきます。



【新任の先生との出会いの喜びを語る児童】



【新入学児童の呼びかけに答える担任】

附属の新しい風～転入職員の紹介～



先間 裕哉
(理科)



福森 一真
(外国語科)



前下 勝信
(算数科)



眞邊 笑子
(家庭科)



上ノ町 亮
(道徳科)



橋元 将大
(体育科)

新生
附属の風

皆様、どうぞ
よろしくお願ひ
いたします。

日常的なかかわりを登下校に生かしていくために～縦割りふれ合い活動～

本校では、平成29年度から、通学子ども会において、それまでのマナーアップに関する話し合い活動に加え、ふれ合い活動を行っています。これは、日常的なふれ合いを通して各班の子どもたちの相互理解を深めることで、マナーアップがより促進されることをねらいとしています。第1回目の活動では、多くの通学子ども会で、自己紹介に続いて、互いのことを知ったり、仲を深めたりする室内遊びを行いました。初めは緊張気味だった1年生も、活動が進む中で笑顔が見られるようになり、自分の班に打ち解けていく様子がうかがえました。



【ふれ合いを通して互いの仲を深める様子】

子どもたちの通学に関して、鹿児島市交通局が出発停留所に近付くバス・市電の情報を提供するアプリ「楽PINA」の試験運用を開始しています。保護者の皆さんにとって、子どもの登下校への見通しをもつことにつながると考えます。詳しくは交通局ホームページ(<http://www.kotsu-city-kagoshima.jp/location/>)をご覧ください。

【5月の主な行事】

- | | |
|----------------------|---|
| 1日(水) �即位の日 | 16日(木) 公開研究会事前準備(5・6年生給食あり) |
| 2日(木) 国民の休日 | 17日(金) 公開研究会 |
| 3日(金) 憲法記念日 | 22日(水) 交通安全教室(低・中学年) |
| 4日(土) みどりの日 | 23日(木) 交通安全教室(高学年) |
| 5日(日) こどもの日 | 24日(金) 春の一日遠足 |
| 6日(月) 振替休日 | 29日(水) 学級対抗リレー大会(予備日30日(木))
1校時(低学年), 2校時(中学年), 3校時(高学年) |
| 7日(火) 夏服完全更衣 | 31日(金) 写生会 |
| 8日(水) PTA総務部会・理事会 | |
| 12日(日) 「ちから会」公開前奉仕作業 | |



1年部 じぶんではっけん みんなではっけん わくわくいっぱい いちねんせい



1年い組 渡邊 健二
心が確かに動き出す、身の回りの時間的芸術とのかかわり【もの】【こと】

1年ろ組 永野 優希
自分の生き方を支える思想を創る、自然に触れる原体験【もの】【こと】

1年は組 上ノ町 亮
表面からは見えない「本質」に思いを巡らす姿勢

1年に組 中原 大士
自分自身を磨いていくための重要な原動力であるという姿勢

養護教諭 坂田 泉
常に向上心をもつて人とかかわろうとする姿勢【ひと】

養護教諭 常山 由紀子
「もの」の価値を駆使しながら得た体験「こと」が人をつなげていくという姿勢

家庭 佐々木 佳菜
知的好奇心をもって行動し、対象から柔軟に吸収する姿勢

2年部 心をつなぎ、みんなでジャンプ！ スマイルいっぱい2年



2年い組 賀地 拓也
一つ一つの行事にがむしゃらに全力で取り組んでいく姿勢

2年ろ組 前下 勝信
新しいものとの出会いを大切にすることで、自分自身が形成されていくという姿勢

2年は組 阿部 大亮
何気ない「ひと・もの・こと」とのかかわりは、必ず新たな自分づくりにつながっているという姿勢

音楽・書写 永留 弘之
自分の声・友達の声・全体の音を大事にして、美しい音楽をつくる姿勢

栄養教諭 松窪 久美子
いろいろな経験をした人とのかかわりを大切にする姿勢

複式1組 濱崎 昇平
人は、人とのつながりの中でこそ成長ができると考え、つながっていくという姿勢

2年に組 古園 正樹
子どもが成長する姿から学ぼうとする姿勢

3年部 「よさ」を見つけて みとめ合う 笑顔かがやく3年生



3年い組 上嶋 博輝
目的を共有する複数人との対話を通したかかわり【ひと】

3年ろ組 福森 一真
互いを尊重し合える人と、目的をもったやりとりを通したかかわり【ひと】

3年は組 柏木 康良
自分の視野を広げてくれる人との縁を大切にしたかかわり【ひと】

複式II組 内山 齊哉
自分とは違う視点をもっている様々な人とのかかわり【ひと】

算数 上田 幸昭
何でも意欲的に挑戦してみようとする姿勢

3年に組 橋元 将大
自分にはない考え方や価値観をもった人とのかかわり【ひと】

平成31(令和元)年度 職員の紹介



職員に聞きました

Q： 子どもに身に付けさせたい「課題に対して自分なりの考え方や価値を見出す力」「問題を発見し、解決していく力」などの力を育んでいくうえで、どのような「ひと」や「もの」、「こと」とのかかわりをもつことや、どのような姿勢でかかわっていくことが大切ですか。

4年部 自らチャレンジ！仲間とチャレンジ！ともに高まる4年生



4年い組 柳 将和
考えたこともない価値観を受容しながら自分の価値観を創り上げる姿勢

4年ろ組 下戸 勇介
自分の言葉と他者や教材の言葉を比べ、よりよい表現を考える姿勢

4年は組 先間 裕哉
発する言葉をより豊かにし、他者との関係の価値を高める姿勢

4年に組 藤崎 智大
それぞれのよさや意味があり、自分を成長させてくれる存在であるという姿勢

校長室



校長 假屋園 昭彦
「もの」が自分にとってどんな意味をもつかを考えるというかかわり【姿勢】



副校長 益山 富誉
自分の目標や課題に対して、柔軟な思考で粘り強く取り組むこと【姿勢】

教頭室



教頭 須藤 信司
課題解決に向けて、これまでの経験や知識を生かそうとする姿勢



主幹教諭 上江洲 洋志
音楽や絵画、写真や映像など、美しさを感じさせるものとのかかわり【もの】

給食室



村田 滨田 細田 山内
前田



野頭 宇都山 宮田 岩山 奥村
中保 横山 奥

事務室



吉富 重久
創立百年



5年部 認め合い 磨き合い 一人一人の一歩で 目指す新たな自分・未来のリーダー



5年い組 辻 美咲
全ての「ひと・もの・こと」が、新たな自分を創る素地になるという姿勢

5年ろ組 當房 省吾
自分にない視点は、いつも周りの人から気付かされるという姿勢

5年は組 真邊 笑子
相手を認め尊敬し、自分の見方や考え方を広げていくという姿勢

5年に組 奥 俊明
自分や他者の経験を組み合わせて、新たな経験をつくりだそうとする姿勢

6年部 貫く意志 深める絆 魅せる姿



6年い組 三宅 倖平
多様な考えをもつ他者とのかかわり【ひと】

6年ろ組 鮫島 圭介
自分の成長につながり、人間の在り方を見つめ直す自然とのかかわり【もの】

6年は組 永田 佑
常に自分を見つめ直し、よりよく生きるために大切なことは何かを考える姿勢

6年に組 森山 健一
多くのひと・もの・こととのつながりが、社会、自分を創り出すという姿勢

後援会事務室



吉富 重久
創立百年

コメントの見方

○ 文末の【 】は、「ひと」「もの」「こと」のうち、何とのかかわりが特に大切であると考えているかを表します。
○ 文末の「姿勢」は、どのような気持ちや考え方をもってかかわっていくことが大切であると考えているかを表します。

外国語 金崎 英俊

自分とは違った視点で、ものごとを考える「ひと」とのかかわり【ひと】

複式III組 原之園 翔吾

「ひと」との出会いが、新たなものの見方や考え方を得る契機になるという姿勢

外国語 クリストファー・スネラー

様々な出会いに感謝し、大切にする姿勢